



# 食品安全のためのリスク分析 (食品のリスクとのつきあい方)

内閣府食品安全委員会事務局

## 目次

- ◆ 食品安全委員会を知っていますか
- ◆ 食の安全とリスク
- ◆ リスク評価とリスクコミュニケーション
- ◆ リスクとつきあうには？

委員長の見上です。  
よろしくお願いします



<http://www.fsc.go.jp/>
[更新情報](#)
[サイトマップ](#)
[English Page](#)

[トピックス](#)
[分野別情報](#)
[新着情報](#)
[委員会からのお知らせ](#)
[リスク評価](#)
[意見募集等](#)
[意見交換等](#)
[用語集](#)
[法令等](#)
[リンク集](#)

**国民の健康と安全のために。**  
 食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、食品を摂取することによる健康への影響について科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に評価を行う機関です。

**！ホットトピック**  
 ● 重要なお知らせ（委員長談話など）  
 ● トピックス  
   ▶ ノロウイルス   ▶ 食中毒  
   ▶ 鳥インフルエンザ   ▶ BSE及びvCJD  
   ▶ トランス脂肪酸について  
 ● ファクトシート  
 （科学的知見に基づく概要書）  
   ▶ 加工食品中のアクリルアミド（更新）、  
   牛乳成長促進を目的として使用され  
   たβ-カゼインナトリウム（BHE）

**新着情報**  
 ● 特報はごらんください

**食品安全委員会を知っていますか？**

○「シニア食品安全委員会」の開催と参加者の募集について（お知らせ）【開催日：8月22日】 募集は締め切りました。おかげさまでおまじで募集人数に達しました。ありがとうございました。

○「にんにく入りゼリーによる窒息事故について」

○「これからのシニアの食中薬」に注意

○最近の中国産食品に関する情報について

2007.08.10  
**研 究** 「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座（石川）」の開催と参加者の募集について【開催日：9月11日】

**研 究** 「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座（山口）」の開催と参加者の募集について【開催日：9月12日】

**その他** 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成19年7月分）を掲載します。

2007.08.09  
**意見募集** 鶏舎血ウイルス感染症発生影響評価に関する意識調査募集期間：8月9日～9月7日

**毎週木曜日に公開で行っています【誰でも傍聴可】**

**食品安全委員会**

**食品安全委員会を知っていますか？**

**厚生労働省か農林水産省の機関？**

**内閣府 とは？**  
 Cabinet Office, Government of Japan  
 内閣の重要政策に関する企画立案及び省庁間の総合調整などを行う総理大臣を長とする機関です。

いいえ、独立した機関で、平成15年7月に内閣府に設置されました。

## 食品安全委員会を知っていますか？

何をしているの？



国民の健康と安全のために。

食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、食品を摂取することによる健康への悪影響についての科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に評価を行う機関です。



食品に関するリスク評価を行う  
国の専門機関です



## 食品安全委員会を知っていますか？

何故できたの？



例えば、

- 食生活の多様化
- 新しい技術の利用（組換えDNA技術など）
- 新しい感染症が現れる（O157, BSE等）

BSEなどの問題から、  
新しい食品安全のための  
考え方が必要になっ  
たからです



# 食品安全委員会を知っていますか？



容器



牛肉 (BSE)



遺伝子組換え食品

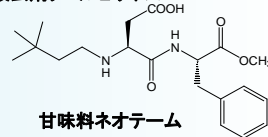


魚介類とメチル水銀

具体的に何してるの？



殺虫剤クロルピリホス



甘味料ネオテーム

その他に健康食品、動物用医薬品  
自然毒、化学物質など



食中毒

農薬、添加物、食中毒、BSE、  
遺伝子組換えなど食品の安全  
性に関するありとあらゆる評  
価をしています



## 食品安全委員会の構成

食品安全委員会は7人の委員から構成

### 14 専門調査会

企画

緊急時対応

リスクコミュニケーション

食品安全  
委員会委員



7名

化学物質系グループ: 農薬、添加物等

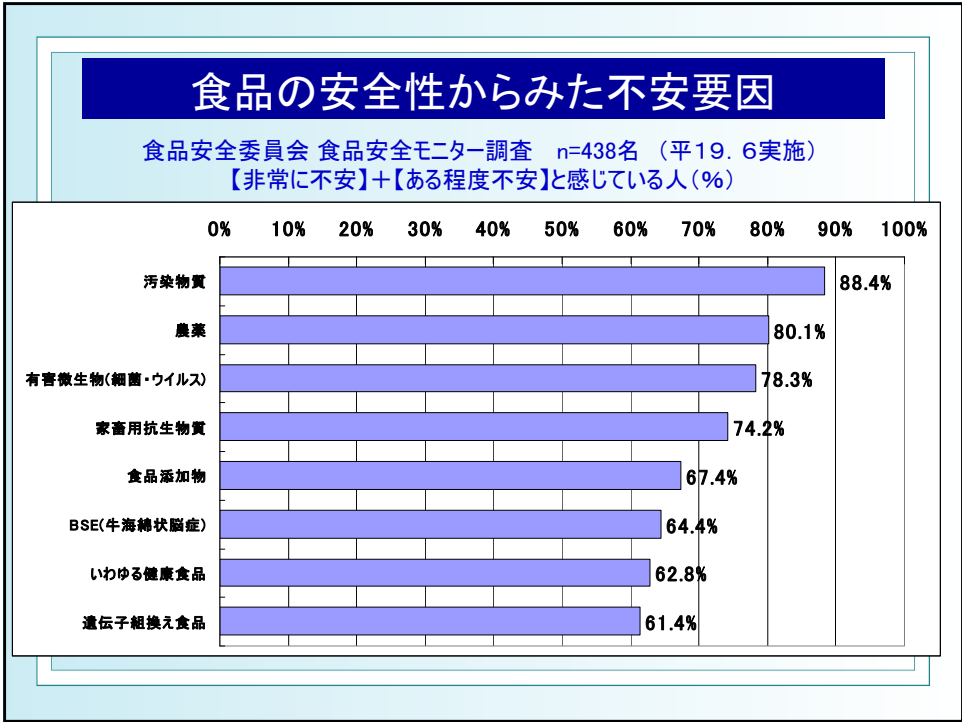
生物系グループ: 微生物・ウイルス、  
プリオン等

新食品グループ: 遺伝子組換え等

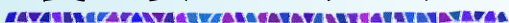
専門委員: 207名

事務局(職員59名、技術参与34名)

平成20年7月現在



# 食の安全とリスク



リスク分析というアプローチ

## どんな食品も完全に安全とは言えません



調理の時に除去

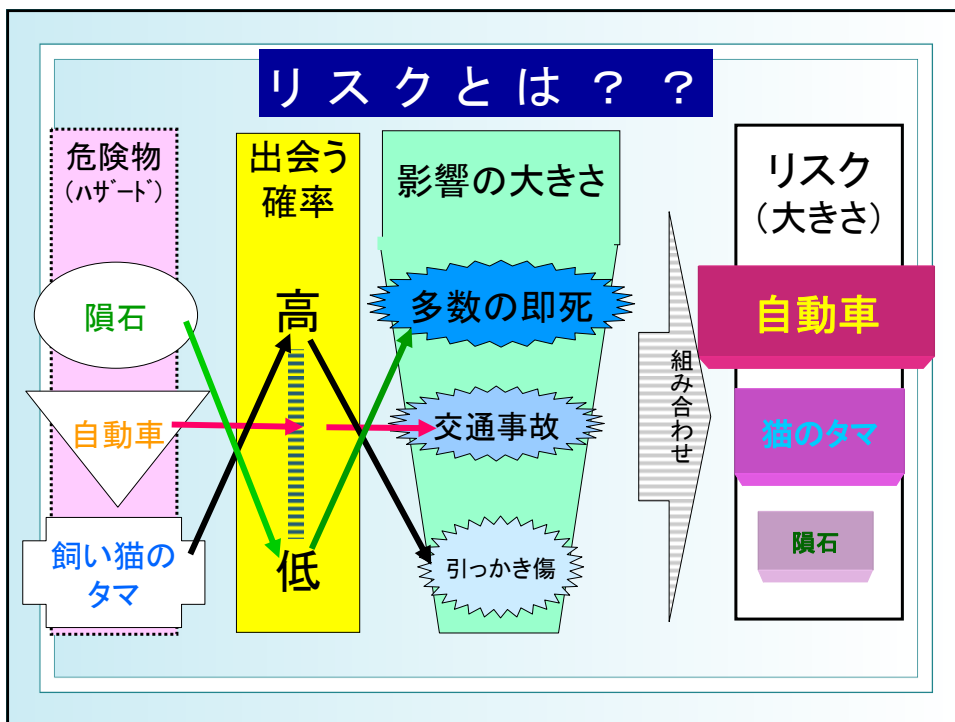


育種で低減化されている



加工の時に除去

危害要因(ハザード)  
||  
健康に悪影響をもたらすもの



## リスク分析の考え方

どんな食品にも**リスクがある**という前提で、科学的健康への悪影響を未然的に評価し、**適切な管理**に防ぐ、または、許容できる程度に抑えるべき

リスク分析には三つの要素がある



## リスク分析の三要素

- 食品が関係する事件、事故などが起きていないか？
- 緊急性、重要度、目標は？

**リスク評価**  
(食品安全委員会)

- 必要な管理手段を設定する
- 必要な管理手段を選ぶ

- 農薬や添加物の使用基準
- 農薬、動物薬の残留基準

**リスク管理**

(厚生労働省、農林水産省等)

リスク分析の初期作業

リスク評価に基づく管理手段の検討

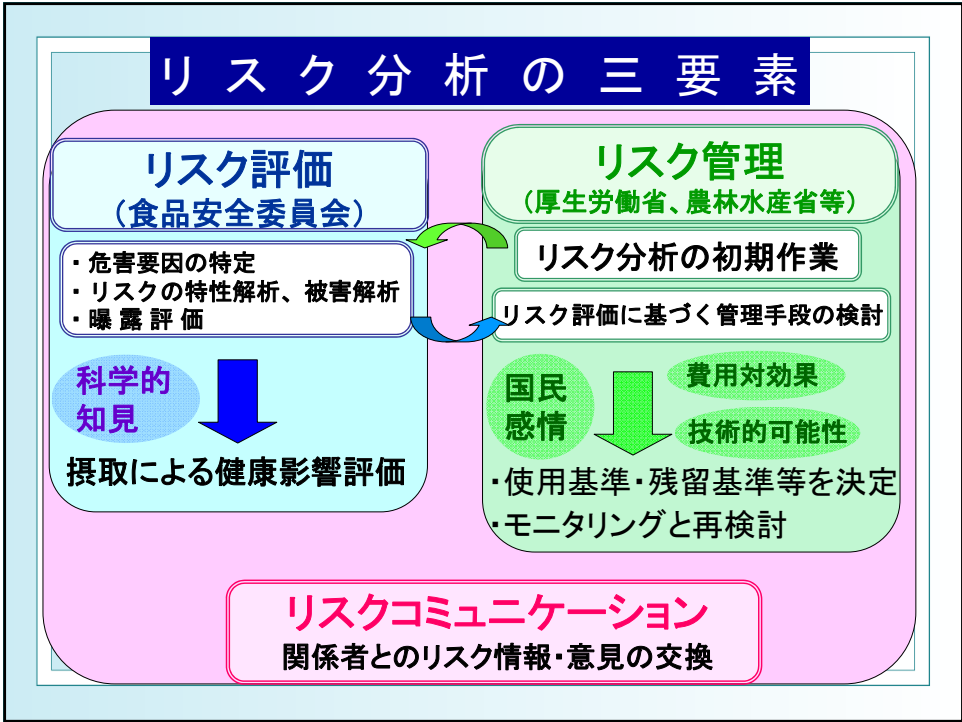
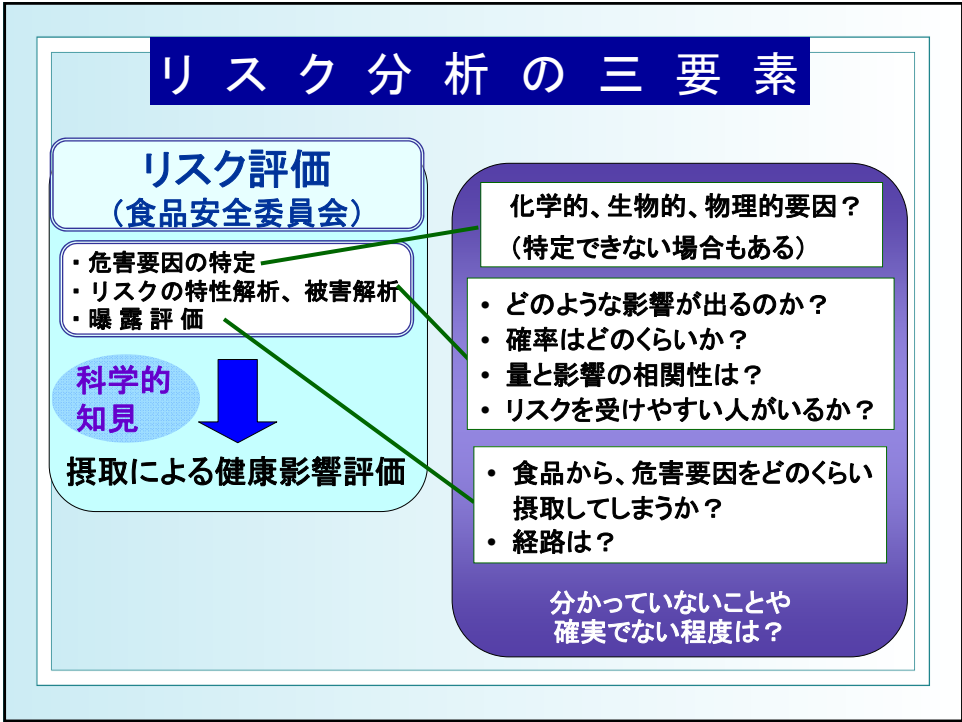
国民感情

費用対効果

技術的可能性

- 基準を決める
- モニタリングと再検討





## みなさんのごもん？

① 食品安全委員会  
は何をしてるの？

② 食品安全の  
ための新しい  
考え方って？

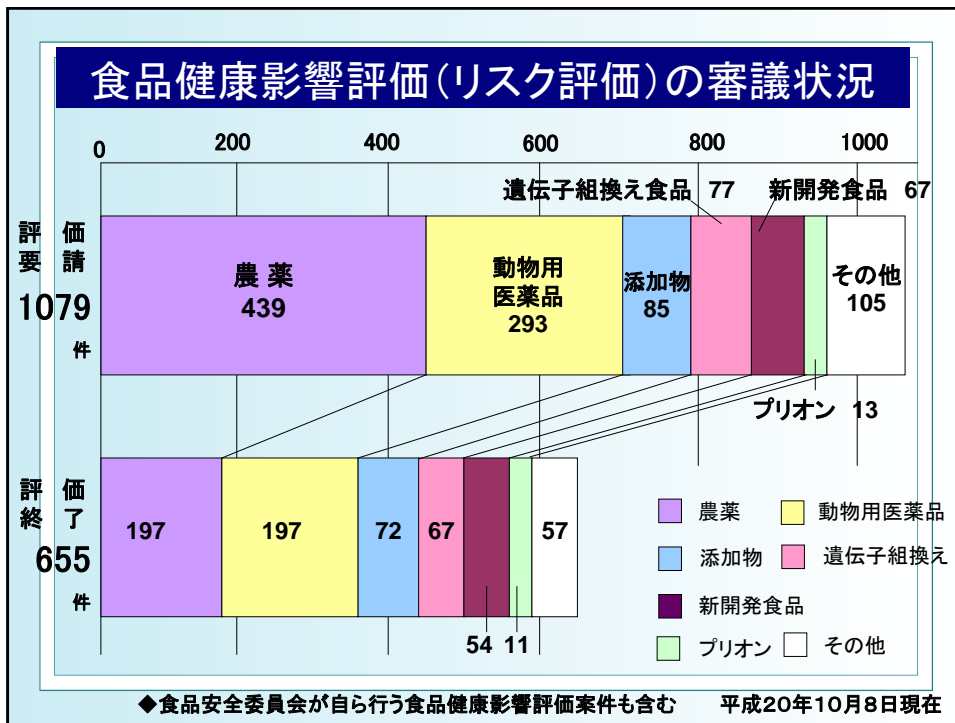
③ 添加物や農薬は、  
毎日とれば、いつかは  
障害がでるはずだ！

④ 管理機関から言  
われないと評価し  
ないの？



## 食品安全委員会の役割

### 1. 食品健康影響評価(リスク評価)



### 食品安全委員会を知っていますか？

**具体的に何してるの？**

- 容器
- 牛肉(BSE)
- 遺伝子組換え食品
- 魚介類とメチル水銀

殺虫剤クロルピリホス

CC1=CC=C(C=C1)OP(=S)(Cl)Cl

甘味料ネオテーム

CC(=O)N[C@@H](C(=O)O)C[C@@H](C)N

食中毒

小学校

その他に健康食品、動物用医薬品、自然毒、化学物質など

**農薬、添加物、食中毒、BSE、遺伝子組換えなど食品の安全性に関するありとあらゆる評価をしています**

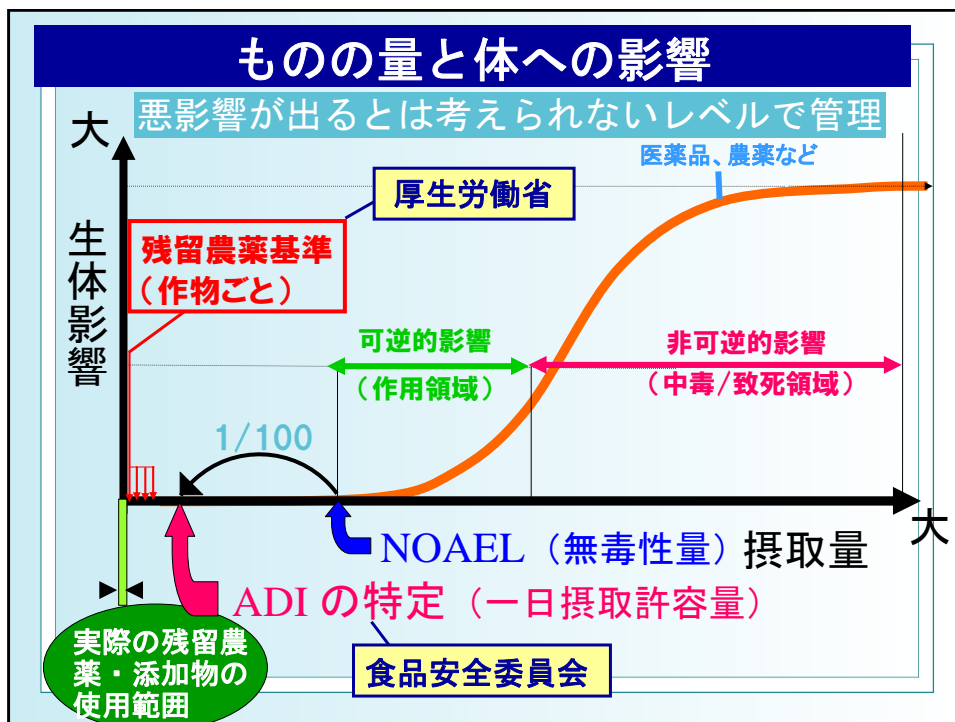
## リスク評価はどのように行われるのか (化学物質の場合)

- 危害要因は何か
- 動物実験から有害作用を知る
- 動物実験等から最大無毒性量を推定する
- 安全係数（不確実係数）を決める
- ADI（一日摂取許容量＝ヒトが一生涯、毎日摂取しても有害作用を示さない量）を設定する
- どの位摂取しているのか（<sup>バクロ</sup>曝露評価）

## 無毒性量を決めるための動物実験等

- ◆ 急性毒性試験
- ◆ 反復投与毒性試験（亜急性、慢性）
- ◆ 遺伝毒性試験（変異原性試験）
- ◆ 発がん性試験
- ◆ 繁殖毒性試験
- ◆ 催奇形性試験
- ◆ 体内運命試験






### 天然由来の添加物は安全???

「天然だから」、「食経験があるから」、安全と思われているようだが、天然由来の方が安全性が高いというわけではない

例えば、医薬品は適量を守れば“良薬”  
適量を過ぎれば“毒薬”

大事なことは毒性の限界値の見きわめ!

“全ての物質は毒であり、薬である。量が毒か薬かを区別する”



パラケルスス  
(スイスの医学者、錬金術師、1493-1541)

# 農薬

- ・農作物の収穫・品質を維持するために使う“くすり”
- ・国内で使うには厳しい審査を受け、“登録”されていることが条件
- ・食品中に残っても健康に悪影響のない量“残留基準”が定められている

## 病虫害防除に利用する薬剤

- ・殺虫剤
- ・殺菌剤
- ・除草剤 など



## 病虫害防除に用いる天敵

- ・テントウムシ
- ・寄生バチ
- ・昆虫ウイルス など

## 植物の成長調整に利用する薬剤

- ・着果促進剤
- ・無種子果剤
- ・発根促進剤 など

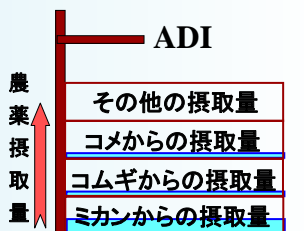
# 農薬の使用基準と残留基準

国民栄養調査等をもとに各農産物から摂取する残留農薬の合計した量がADIを超えないか確認する

一日当たりの各作物の摂取量  
(国民栄養調査等)

国際基準

一日摂取許容量 ≡ ADI



残留農薬基準

作物中の残留農薬実態調査

作物残留試験

農薬の使用基準  
(作物ごと)

- ・使える作物
- ・使用量
- ・使用時期
- ・総使用回数

農家の監督・指導

## マーケットバスケット調査の結果

毎年、全国地域別(12ブロック)の摂取量から食品群ごとに約20農薬について分析

ほとんどの農薬は検出限界以下

➡ 検出されなかった場合は、検出限界の20%が含まれていると想定し、150農薬の各摂取量を計算

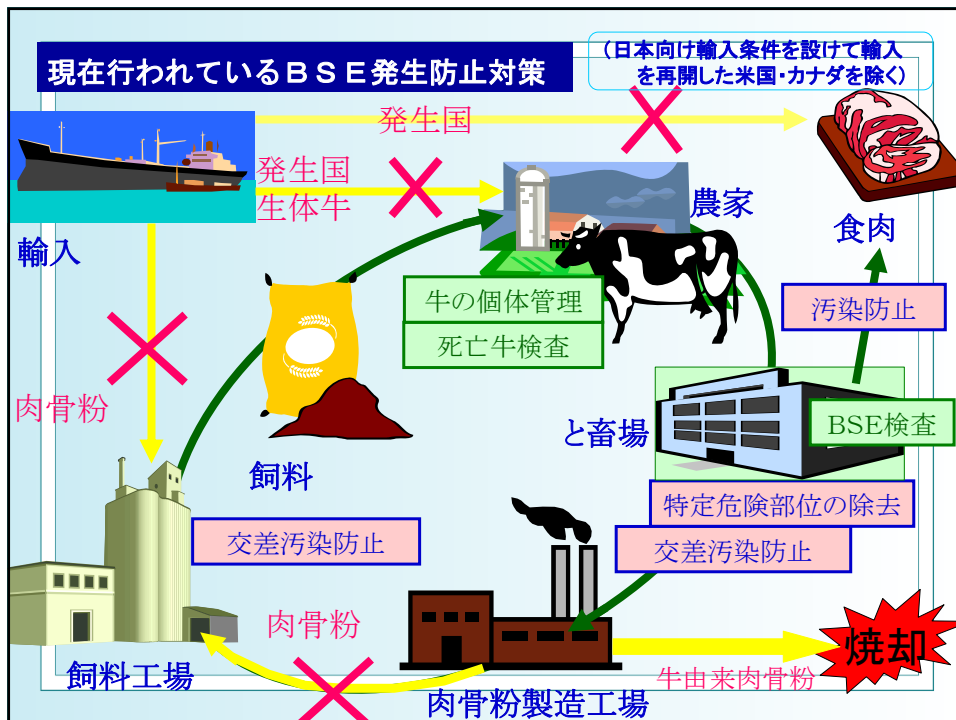
- 9農薬が1,582試料中18件で検出（15年度）
- ADIを超える農薬はなかった（3-15年度）
- 2/3の農薬はADIの1%未満（＼）

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/zanryu2/>)



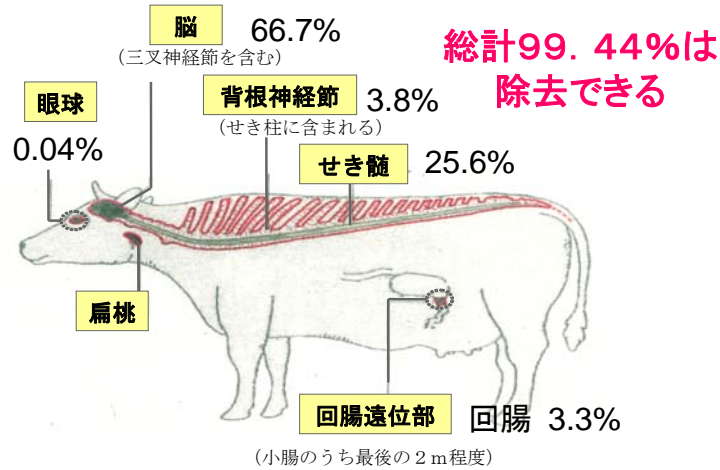
## これまで実施されている管理対策（国内）

- ① 完全飼料規制(平13. 10～)
- ② 特定危険部位(SRM)の除去、交差汚染防止の徹底
- ③ 全月齢のと畜牛をBSE検査の対象とする(平13. 10～)
  - ➡ (平17. 5の食品安全委員会の評価)  
検出限界未満(20ヶ月齢以下)の牛を検査対象から除外しても、リスクは増加しない
  - ➡ 検査対象月齢を21ヶ月以上に変更(平17. 8～)  
→自治体の自主検査を補助(～平20. 7)





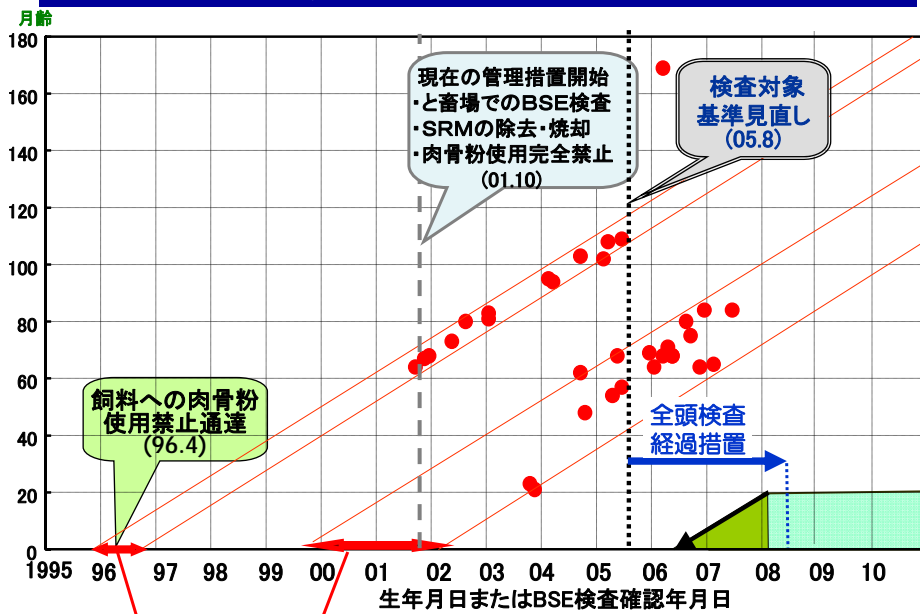
## BSE発症牛体内の感染力価の分布



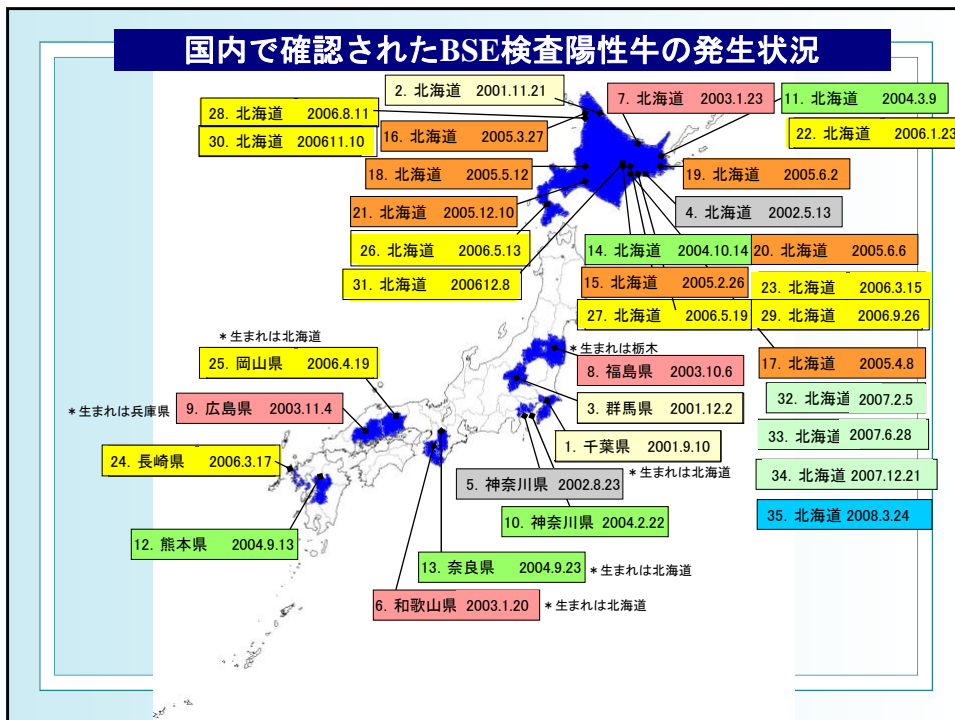
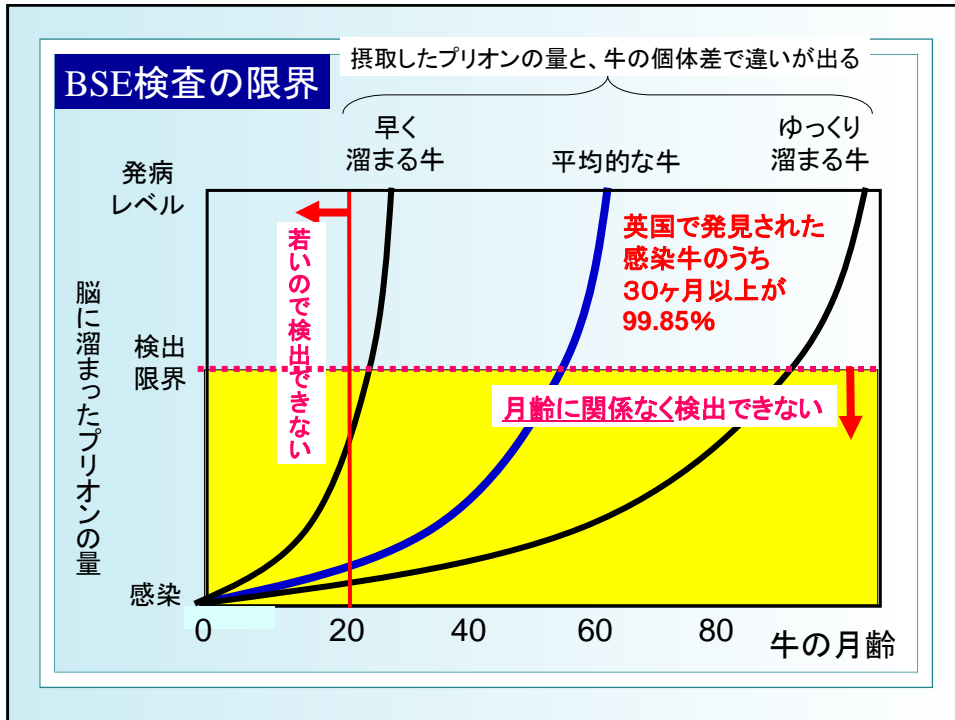
**脳に2/3(8/12), 脊髄に1/4(3/12), その他の臓器1/12**

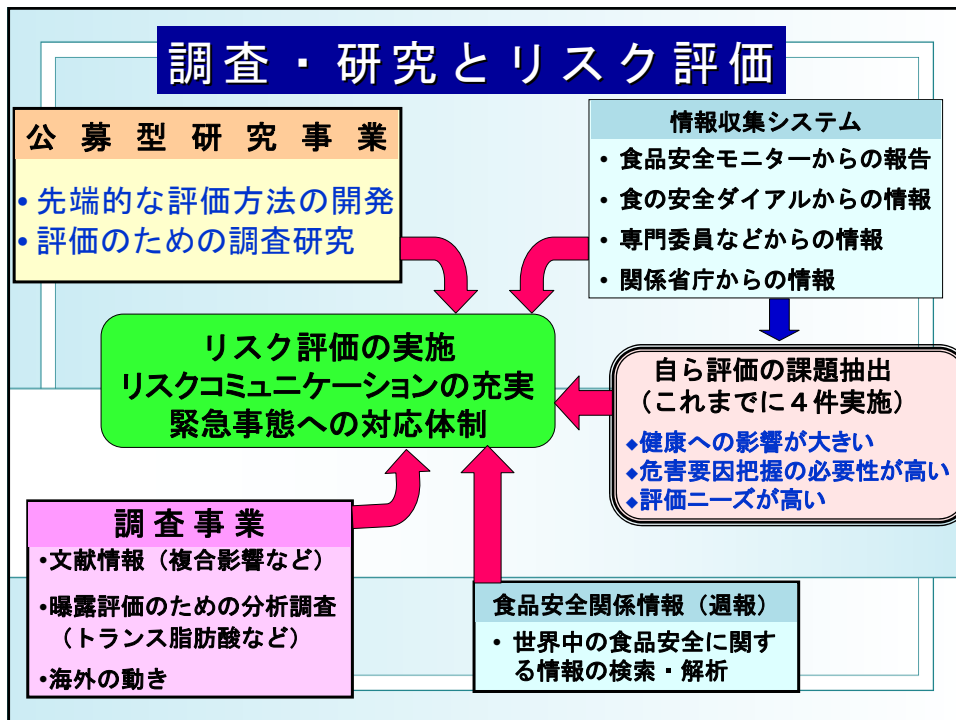
出典: 欧州委員会科学運営委員会(1999年12月)  
 「食物を介したBSEのヒトへの暴露リスクに関する科学運営委員会の意見」

## 日本のBSE陽性牛の生年月日と確認年月日





確認されたBSE陽性牛の出生年月日の範囲

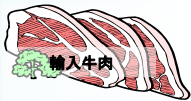




## これまでの自ら評価

1. 日本における牛海綿状脳症（BSE）対策について-中間とりまとめ-
 



2. 食中毒原因微生物のリスク評価
3. 我が国に輸入される牛肉等に係る食品健康影響評価
 


4. 食品及び器具・容器包装中の鉛

## みなさんのごもん？

① 食品安全委員会  
は何をしてるの？

② 食品安全の  
ための新しい  
考え方って？

③ 添加物や農薬は、  
毎日とれば、いつかは  
障害がでるはずだ！

⑤ リスクコミュニ  
ケーションっ  
て何？

④ 管理機関から言  
われないと評価し  
ないの？



## 食品安全委員会の役割

### 2. リスクコミュニケーションの実施

## 食品安全におけるリスクコミュニケーション

どのような評価／管理を行うかを決定する時に  
関係者間で情報を共有し、意見を交換すること



リスク分析に活かしていく

  
 食品安全委員会  
 厚生労働省  
 農林水産省



消費者  
 生産者  
 製造・加工業者  
 流通・小売業者  
 科学者



## さまざまなリスクコミュニケーションの取組－1

- 委員会・調査会の公開（傍聴・議事録公開）
- 意見交換会（テーマを絞った講演と討論）等



食品安全委員会 リスクコミュニケーション専門調査会 第 28 回会合議事録	
1. 開会 開会式（第 28 回）	2024.10.10
2. 開会 食品安全委員会主催講演	2024.10.10
3. 講演	2024.10.10
3.1 3.1 消費者の権利とリスクコミュニケーションの重要性について	2024.10.10
3.2 「食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進」について	2024.10.10
3.3 閉会	2024.10.10
4. 閉会	2024.10.10
4.1 閉会式	2024.10.10
4.2 閉会式	2024.10.10
4.3 閉会式	2024.10.10
4.4 閉会式	2024.10.10
4.5 閉会式	2024.10.10
4.6 閉会式	2024.10.10
4.7 閉会式	2024.10.10
4.8 閉会式	2024.10.10
4.9 閉会式	2024.10.10
4.10 閉会式	2024.10.10
4.11 閉会式	2024.10.10
4.12 閉会式	2024.10.10
4.13 閉会式	2024.10.10
4.14 閉会式	2024.10.10
4.15 閉会式	2024.10.10
4.16 閉会式	2024.10.10
4.17 閉会式	2024.10.10
4.18 閉会式	2024.10.10
4.19 閉会式	2024.10.10
4.20 閉会式	2024.10.10
4.21 閉会式	2024.10.10
4.22 閉会式	2024.10.10
4.23 閉会式	2024.10.10
4.24 閉会式	2024.10.10
4.25 閉会式	2024.10.10
4.26 閉会式	2024.10.10
4.27 閉会式	2024.10.10
4.28 閉会式	2024.10.10
4.29 閉会式	2024.10.10
4.30 閉会式	2024.10.10
4.31 閉会式	2024.10.10
4.32 閉会式	2024.10.10
4.33 閉会式	2024.10.10
4.34 閉会式	2024.10.10
4.35 閉会式	2024.10.10
4.36 閉会式	2024.10.10
4.37 閉会式	2024.10.10
4.38 閉会式	2024.10.10
4.39 閉会式	2024.10.10
4.40 閉会式	2024.10.10
4.41 閉会式	2024.10.10
4.42 閉会式	2024.10.10
4.43 閉会式	2024.10.10
4.44 閉会式	2024.10.10
4.45 閉会式	2024.10.10
4.46 閉会式	2024.10.10
4.47 閉会式	2024.10.10
4.48 閉会式	2024.10.10
4.49 閉会式	2024.10.10
4.50 閉会式	2024.10.10

- 評価結果等についての  
意見・情報の募集

- 食品安全モニター（全国の470名に依頼）

## さまざまなリスクの取組-2

- 食品安全委員会e-マガジン
- 食の安全ダイヤル
- 季刊誌などの発行



「食の安全ダイヤル」  
TEL 03-5251-9220-9221  
月曜～金曜（祝祭日・年末年始を除く）  
10:00～17:00



←制作  
DVD

- 地域の指導者・リスクコミュニケーター各育成講座
- リスク評価などのDVD作成と配布
- ホームページからのプレスリリース、情報提供など
- マスコミや関係者との懇談会

## みなさんのきもん？

① 食品安全委員会は何をしてるの？

② 食品安全のための新しい考え方って？

③ 添加物や農薬は、毎日とれば、いつかは障害がでるはずだ！

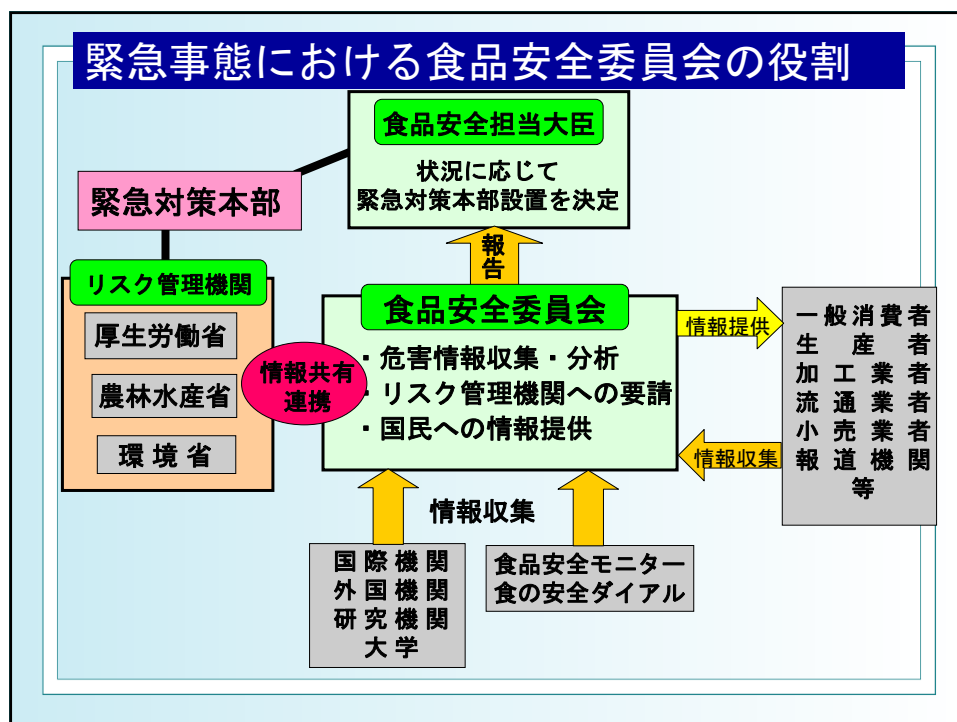
⑤ リスクコミュニケーションって何？

④ 管理機関から言われないと評価しないの？

⑥ 事件が起きた時の準備はしてあるのか？

# 食品安全委員会の役割

## 3. 緊急の事態への対応



## 緊急時対応訓練を実施

(平成18年度)

(平19.2.9実施の第3回訓練)

形式:机上シミュレーション+実動訓練



情報提供のあり方についての検討  
(机上シミュレーション形式)



模擬記者会見  
(実動訓練形式)

## みなさんのぎもん？

① 食品安全委員会  
は何をしてるの？

② 食品安全の  
ための新しい  
考え方って？

③ 添加物や農薬は、  
毎日とれば、いつかは  
障害がでるはずだ！

⑤ リスクコミュ  
ニケーションっ  
て何？

④ 管理機関から言  
われないと評価し  
ないの？

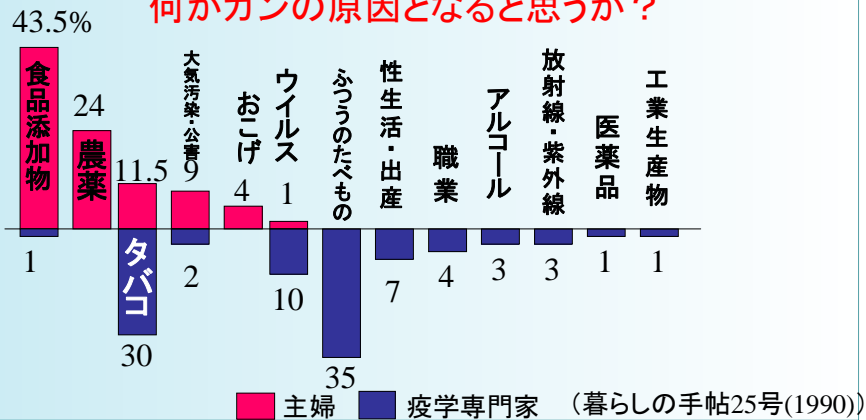
⑦ 危険な情報ばかりで、どれを信じ  
て良いのか・・・  
きたはして  
みるのか？



## リスクとつきあう

- 食品を含めどんなものにもリスクがある
- リスクのとらえ方は人によって差がある

何がガンの原因となると思うか？

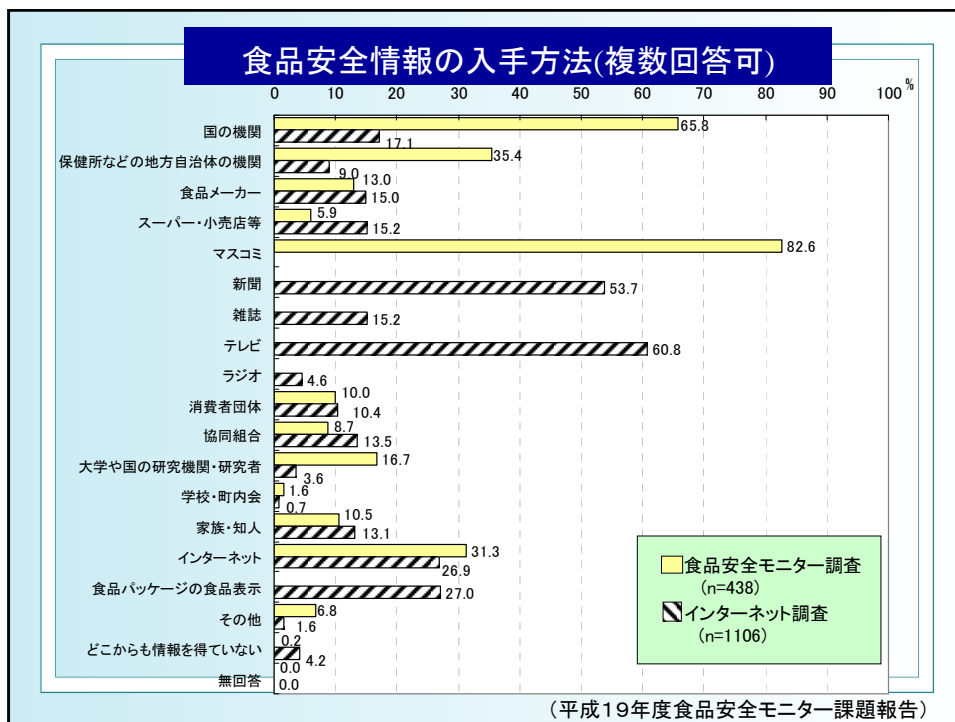


## リスクとつきあう

- 食品を含めどんなものにもリスクがある
- リスクのとらえ方は人によって差がある
- リスクを知り、適切な判断をするためには努力が必要

### ➤ 科学知識を身につける努力

- 一般的科学用語がわかる
- 科学用語を正しく使える
- 分析的思考ができる



## リスクとつきあう

- 食品を含めどんなものにもリスクがある
- リスクのとらえ方は人によって差がある
- リスクを知り、妥当な判断をするためには努力が必要
  - 科学知識を身につける努力
  - メディアの情報の正確性を見分ける努力  
事実と意見、編集の有無、キャスターのイメージ等
  - 情報を批判的に読み取る努力  
あらゆる情報を一度批判的に考える



## 大切なことは

- 食中毒にならないよう注意する
- 栄養、食事形態などのバランスを考慮した食生活
- 心配になったら、異なるソースから情報を入手



- 食べ物や栄養素の健康維持や病気になる情報を**過大**に信じない
- 食品の生産の実態を知る努力をする

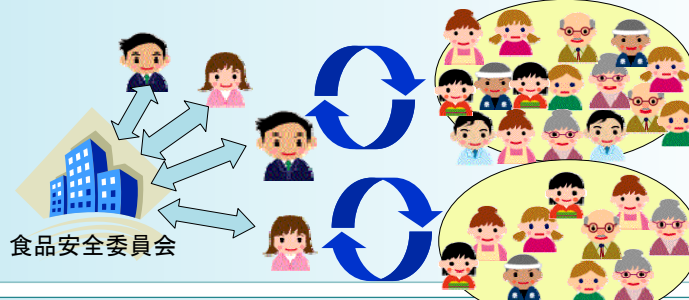


## 本講座の目的

地域における食の安全にかかわる情報提供とリスクコミュニケーションを行う指導者の育成

(期待できること)

- リスク分析の習熟
- コミュニケーション能力の向上
- 将来は、地域におけるリスコミの中心的な役割



ご静聴ありがとうございました